

## 【情報公開文書】

2020年4月18日作成

Ver.1.1

研究課題名	内視鏡的切除後非治癒切除に対する追加化学放射線療法の観察研究
所属（診療科等）	長崎大学病院 放射線科
研究責任者	武田 達哉（医員）
研究機関	この研究は長崎大学病院 放射線科のみで実施します。
研究期間	2020年6月16日～2026年3月31日
研究目的と意義	早期食道癌に対する治療として、内視鏡的粘膜切除術(EMR)・内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)の内視鏡的切除がよく行われていますが、癌のある範囲が深い、周囲に病変が広がっている、切除部に腫瘍が見られるとリンパ節へ転移する可能性が高くなると言われます。しかし、手術に比べると侵襲が少ないため、本研究ではリンパ節転移を減らすために、化学放射線療法を加えることで、手術と同じくらいの治療成績を保てるか、副作用は許容できる範囲かを調べるのが目的です。
研究内容	●対象となる患者さん 内視鏡的切除を行い、リンパ節転移の可能性が高い方に化学放射線療法を加えた患者さんを対象としました。
	●利用する情報 診断名、年齢、性別、身体所見、血液検査、画像検査(レントゲン、CTなど)、全身状態、治療経過、有害事象など 本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。
	●研究の概要・方法 治療経過を基に治療成績や有害事象などのデータ解析を行います。
問い合わせ先	【研究担当者】 氏名：武田 達哉（医師） 長崎大学病院 放射線科 住所：長崎市坂本1丁目7番1号 電話：095（819）7439 FAX 095（819）7215 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）